

新城市障害者計画等策定のための アンケート調査へのご協力をお願い

皆様には、日ごろから市政運営にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

新城市では、障がいのある人が安心して自分らしく暮らせるまちをつくるため、令和2年度に「第2期新城市障害者計画（中間見直し）、第6期新城市障害福祉計画、第2期新城市障害児福祉計画」を策定し、障がい福祉の充実に努めています。これら計画の期間が来年度で満了となることから、次期計画の策定に向けてアンケート調査を実施することとしました。

この調査は、新城市にお住まいの18歳以上の方の中から、800人を無作為で抽出し、調査票を送付させていただいています。調査は無記名で行い、調査結果はすべて統計的に処理しますので、どうぞありのままの状況やご意見を、一人でも多くの皆様からお聞かせいただきたいと存じます。

ご多忙の折、大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

令和4年10月

新城市長 下江 洋行

ご記入にあたってのお願い

- 1 封筒のあて名のご本人がお答えください。
- 2 住所、氏名は記入しないでください。
- 3 質問によっては回答する方を限定しているものもありますので、質問の順にお答えください。
- 4 お答えは、質問ごとに設けてある枠の中から、あてはまるものを選んで番号を○で囲んでください。○の数は1つの場合と2つ以上（複数回答）の場合があります。
- 5 「その他（）」に○をつけたときは、（）内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**10月20日(木)までに** 郵便ポストに投函してください。

※この調査に関してのお問い合わせについては、下記までお願いします。

新城市役所 健康福祉部 福祉課

TEL. 0536-23-7624 FAX. 0536-23-7699

Eメール fukushi@city.shinshiro.lg.jp

1 あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別は。 (〇は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢は。(令和4年10月1日現在の年齢) (〇は1つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 |
| 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |

問3 あなたのお住まいの地区は。 (〇は1つ)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 新城地区 | 2. 鳳来地区 | 3. 作手地区 |
|---------|---------|---------|

問4 あなたの職業は。 (〇は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 正規の社員・職員 | 2. 非正規の社員・職員 (アルバイト等を含む) |
| 3. 会社・団体の役員 | 4. 自営業、個人事業主 (内職等を含む) |
| 5. 学生 | 6. 家事専業 |
| 7. 無職 (5及び6を除く) | 8. その他 () |

2 障がいのある人との交流について

問5 あなたは、障がいのある人のことや障がい者福祉について関心がありますか。 (〇は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |
| 5. どちらともいえない | |

問6 あなたの身近に、障がいのある人はいますか。 (〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 家族や親せきに障がいのある人がいる | 2. 友人や知人に障がいのある人がいる |
| 3. 近所に障がいのある人が住んでいる | 4. 職場や学校などに障がいのある人がいる |
| 5. 障がいのある人と一緒に働いている | 6. その他 () |
| 7. 身近に障がいのある人がいない | |

問7 あなたは、これまでに生活の中で障がいのある人とかかわりを持ったことがありますか。
(○はいくつでも)

1. 身近に障がいのある人がいて、日ごろから接している
2. ボランティアなどで障がいのある人とかかわっている
3. 職場や学校などで障がいのある人とかかわっている
4. 職場の研修や学校の体験学習等で、障がいのある人の話を聞いたりしたことがある
5. まちかどで困っている障がいのある人の手助けなどをしたことがある
6. その他 ()
7. かかわりを持ったことがない

▶ 問7で「7. かかわりを持ったことがない」と答えた方におうかがいします。

問7-1 かかわりを持った経験がない理由は何ですか。 (○はいくつでも)

1. 親しい人の中に障がいのある人がいないから
2. 障がいのある人とかかわる機会がないから
3. 困っていても、手助けするのはおせっかいのような気がするから
4. どのように関わったらよいかわからないから
5. 専門の人や関係者に任せた方がよいと思うから
6. 関心がないから
7. その他 ()

問8 今後、生活の中で障がいのある人とかかわりを持とうと思いますか。 (○は1つ)

1. 積極的にかかわりを持とうと思う
2. 機会があればかかわりを持とうと思う
3. 障がいについての理解や配慮など、どのようにかかわったらよいかわからない
4. できればかかわりを持ちたくない
5. かかわりを持ちたくない

3 障がいのある人への理解や配慮について

問9 あなたは、「障害者差別解消法」についてご存知ですか。 (○は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称を聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 名称も内容も知らない

問10 「障害者差別解消法」は、障がいを理由とする差別の解消の推進と配慮の促進を目的に、平成28（2016）年4月に施行されましたが、この5年間ほどで社会全体として障がいのある人への理解が深まったと感じますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. かなり深まったと思う | 2. 少しは深まったと思う |
| 3. あまり深まったとは思わない | 4. 全く深まっていない |
| 5. どちらともいえない | |

問11 あなたは、生活の中のどのような面で障がいのある人に対して差別や偏見があると感じますか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 教育の機会 | 2. 仕事や収入 |
| 3. 近所づきあい | 4. 地域の行事・集まり |
| 5. まちかどでの人の視線 | 6. 交通機関の利用 |
| 7. 店などでの対応・態度 | 8. 市職員の対応・態度 |
| 9. その他（ | ） 10. 特に感じない |

問12 障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う地域社会のことを「地域共生（インクルーシブ）社会」といいます。あなたは、この「地域共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような社会のあり方についてどのように考えますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあります、賛同できる | 2. 聞いたことはあるが、賛同できない |
| 3. 聞いたことはないが、賛同できる | 4. 聞いたことがなく、賛同もできない |
| 5. どちらともいえない | |

4 ボランティア活動等について

問13 あなたは、障がいのある人の生活を支援する福祉関係のボランティア活動に関心がありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |

問14 あなたは、障がいのある人が身近にいた場合、どのようなことができるとお考えですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|-------------------|------------------|---|
| 1. 日常的な声かけ | 2. 話し相手、情報の提供 | |
| 3. 外出時のちょっとした手伝い | 4. ちょっとした家事等の手伝い | |
| 5. 災害や急病などの緊急時の支援 | 6. その他（ | ） |
| 7. 何もできないと思う | | |

問15 災害が起きた際、障がいのある人への支援（安否の声かけ、災害情報を伝える、避難誘導など）をすることについて、どのように思いますか。 （○は1つ）

1. 積極的に支援をしたいと思う
2. できるだけ支援をしたいと思う
3. 支援をしたくても、どのように支援したらよいかわからない
4. 支援することは自分には難しいと思う
5. 障がいのある人に限らず他人を支援することは難しいと思う
6. その他（ ）

問16 あなたは、今後、障がいのある人の生活を支援する福祉関係のボランティア活動に参加したいと思いますか。 （○は1つ）

- | | |
|------------|----------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. 機会があれば参加したい |
| 3. 参加したくない | 4. わからない |

→問16で「3. 参加したくない」と答えた方におうかがいします。

問16-1 参加したくない理由は何ですか。 （○はいくつでも）

1. 勉強や仕事、家事が忙しく時間がとれない
2. 育児や介護を必要とする家族がいる
3. 家族や職場の理解が得られない
4. 障がいのある人とどのように接してよいかわからない
5. 健康に自信がない
6. 身近にグループや仲間がいない
7. 活動の内容や参加方法がわからない
8. 興味を持てる活動がない
9. 活動のための費用がない
10. そのような活動は本来行政が行うべきだと思う
11. ボランティア活動はしたくない
12. その他（ ）

問17 あなたは、地域で開催されている障がいのある人のスポーツ大会や作品展、即売会、障がい者（児）団体が主催する催し物に参加したことがありますか。 （○は1つ）

- | | |
|---------|----------|
| 1. よくある | 2. たまにある |
| 3. ない | |

問18 今後、地域で開催される障がいのある人のスポーツ大会や作品展、即売会、障がい者(児)団体が主催する催し物に参加したいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. 機会があれば参加したい |
| 3. 参加したくない | 4. わからない |

5 障がいのある人が暮らしやすいまちづくりについて

問19 障がいのある人にとって、新城市は暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1. 暮らしやすいまちだと思う |
| 2. どちらかという暮らしやすいまちだと思う |
| 3. どちらかという暮らしにくいまちだと思う |
| 4. 暮らしにくいまちだと思う |

問20 あなたにとって、新城市は暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1. 暮らしやすいまちだと思う |
| 2. どちらかという暮らしやすいまちだと思う |
| 3. どちらかという暮らしにくいまちだと思う |
| 4. 暮らしにくいまちだと思う |

問21 障がいのある人にとって暮らしやすいまちにするために、特に必要なことは何だと思いますか。(○は5つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実 |
| 2. 一人ひとりの個性を生かした保育・教育の充実 |
| 3. 障がいのある人、介護者などの話を聞いたり交流したりする場の確保 |
| 4. 障がいのある人が参加しやすいスポーツ、文化芸術活動の充実 |
| 5. 何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実 |
| 6. 職業訓練の充実や働く場所の確保 |
| 7. いろいろなボランティアの育成 |
| 8. 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上 |
| 9. 在宅で暮らしやすいよう保健・医療・福祉のサービスの充実 |
| 10. 入所施設や通所施設の整備 |
| 11. グループホームの整備など住まいの確保 |
| 12. 利用しやすい公共施設や道路などの整備・改善 |
| 13. その他 () |
| 14. 特にない |

《自由意見欄》

最後に、障がい福祉や行政の取り組みについて、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。